

```

/*
LScript Layout
AlignToPath_ds
V1.1
Daisuke Suzuki
History: 2014/09/11
*/

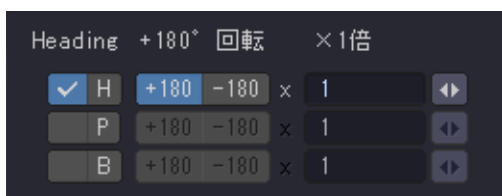
```

## ◆はじめに

`AlignToPath_ds` は、選択アイテムをパス方向へ向けるレイアウトスクリプトです。

## ◆使用方法

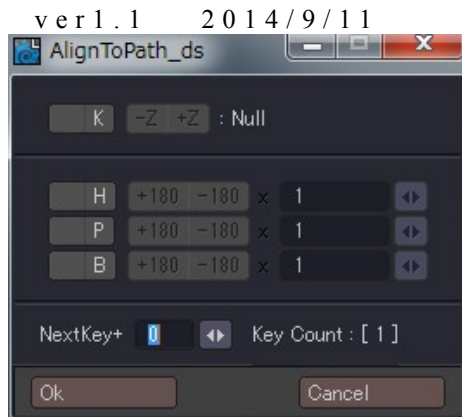
- 1 : パス方向に向けたいアイテムを選択してフレームスライダをキーに合わせて `AlignToPath_ds` ボタンを押します。
- 2 : 「K」のチェックボックスをオンにしてアイテムの正面方向を指定します。
- 3 : OK ボタンを押すとアイテムはパス方向に向けられた状態でキー作成されます。



- 4 : また、Uターンの動きなどを付ける際に `Rotation` の値が反転する場合があるので  $360^\circ$  加算してください。  
(「K」ボタンと同時利用が可能。)
- 5 : 最後に、ひとつひとつキーを合わせてパス方向に向けさせるのは手間なので、一括で実行したい場合は「`NextKey+`」を利用します。「K」のチェックボックスをオンにして `NextKey+` の値を入力してください。`NextKey+` の値は次のキーへフレームスライダが移動する回数だと理解して入力すると良いです。キーの合計数を表示してくれる「`Key Count`」を目安にすると入力し易い

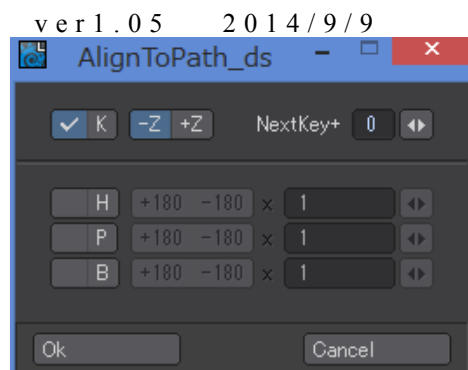
かもしれません。

#### ◆ バージョン変更点



- ・選択されたアイテム名の表示。  
(例 : Null)

- ・作成されたキーの合計数「Key Count」の表示。NextKey+の値を入力する際の目安にすると良いです。



- ・終端キーをパス方向に向ける専用チェックボックスボタン「K-End」を無くし、「K」ボタンだけで出来るように修正。

- ・「NextKey+」を追加。入力した値の分だけ、現在のキーから次のキーへ移動しつつパス方向へ向けさせます。

